

EARTH ECO  
MAIL MAGAZINE

# アース・エコ メールマガジン

特定非営利活動法人  
アース・エコ  
メールマガジン No.10-6  
2019年6月22日(夏至)

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

来週 G20 大阪サミットが開催されます。主要テーマのひとつ、環境・エネルギー分野では気候変動、エネルギー、環境(海洋プラスチックごみ)が議題となる予定です。SDGs 達成のためにも重要なテーマですが、大きな成果は望み薄との予想です。議長国日本の手腕が期待されます。



外務省 HP より

## 防災気象情報 ～警戒レベルと避難行動～

大雨の季節になりました。大雨などの気象災害から自らの命を守るには、危険な事態が予想されるときにどのように判断し、行動に移すかが重要です。

近年の気象観測技術とスーパーコンピューターによる予測技術の進歩により、災害が心配される気象条件では、気象庁や自治体などから様々な情報が生まれ、私たちはスマホなどで簡単にそれらの情報を入手することが可能になりました。

一方、提供される情報が多過ぎて「何をどう判断したら良いかわからない」との批判や、「必ずしも確かな避難に結びついていない」との指摘もありました。

今年3月に内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」が改定され、住民は「自らの命は自らが守る」

意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示されました。これに沿って自治体や気象庁等から発表される防災気象情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいよう、5段階の警戒レベルを明記した防災情報を提供することになりました。

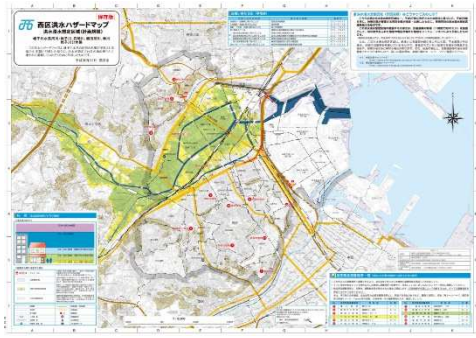
皆さんはお住いの周辺のハザードマップをご覧になったことがありますか。ハザードマップにも、洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップなどいろいろあります。自治体から配布されているはずですが、捨てたり見つからない場合は、通常、自治体の窓口などで入手したり、インターネットで閲覧できるのでご確認ください。

大雨が原因で起きる災害には、土砂災害、洪水(川

水害・土砂災害について市町村が出す避難情報と国や都道府県が出す防災気象情報を5段階に整理

| 警戒レベル              | 避難行動等                                                                              | 避難情報等            |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 警戒レベル 5            | 既に <u>災害が発生</u> している状況です。<br>命を守るための最善の行動をとりましょう。                                  | 災害発生情報           |
| 警戒レベル 4<br>全員避難    | <u>速やかに避難先へ避難</u> しましょう。<br>公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 | 避難勧告<br>避難指示(緊急) |
| 警戒レベル 3<br>高齢者等は避難 | <u>避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難</u> しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。           | 避難準備<br>高齢者等避難開始 |
| 警戒レベル 2            | 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの <u>避難行動を確認</u> しましょう。                                        | 洪水注意報<br>大雨注意報等  |
| 警戒レベル 1            | 災害への心構えを高めましょう。                                                                    | 早期注意情報           |

(内閣府のリーフレットより抜粋)



ハザードマップ (横浜市 HP より)

の氾濫)、内水氾濫、高潮などがあります。

川の近くにお住まいの方は洪水が心配と思います。洪水によって大きな損害や被害のおそれのある河川は「指定河川」と呼ばれます(神奈川県では鶴見川、相模川、酒匂川)。洪水が発生した時に予想される浸水の深さなどはハザードマップに示されています。

これらの河川では氾濫注意水位、避難判断水位、氾濫危険水位が予め設定されていて、水位に応じて**氾濫注意情報**、**氾濫警戒情報**、**氾濫危険情報**が発表され、氾濫すると**氾濫発生情報**が発表されます。

- **氾濫警戒情報** (警戒レベル3相当)

災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布や河川の水位情報等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。

- **氾濫危険情報** (警戒レベル4相当)

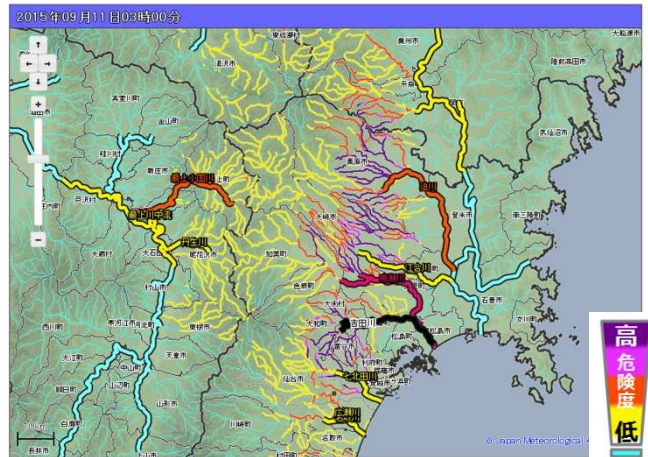
災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

- **氾濫発生情報** (警戒レベル5相当)

何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命を守るための最善の

行動をとってください。

気象庁は指定河川以外の中小河川でも、洪水警報・注意報及び洪水警報の危険度分布を発表しています。3時間先までの予測値が警報等の基準に到達したかどうかを地図上に5段階で色分け表示した「洪水警報の危険度分布」を提供しており、急激な増水による危険度の高まりも数時間前から確認でき、早い段階から予測される洪水害発生危険度の高まりを一目で確認できます。

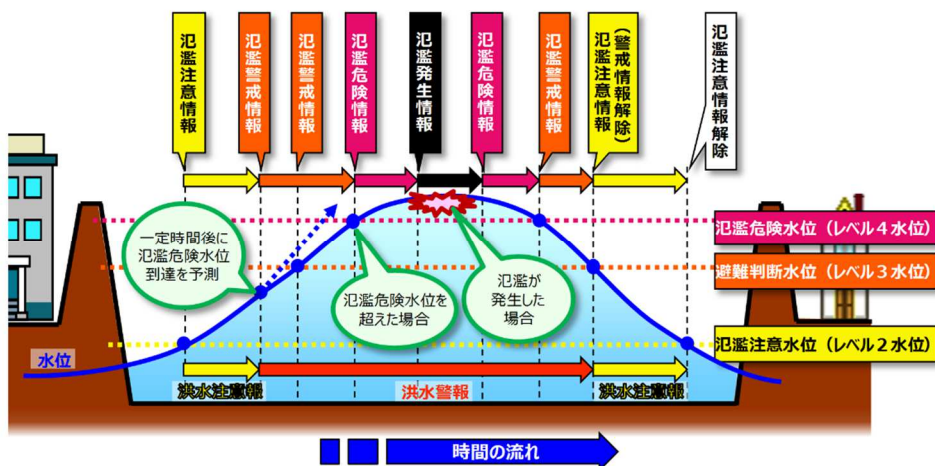


洪水警報の危険度分布 (気象庁 HP より)

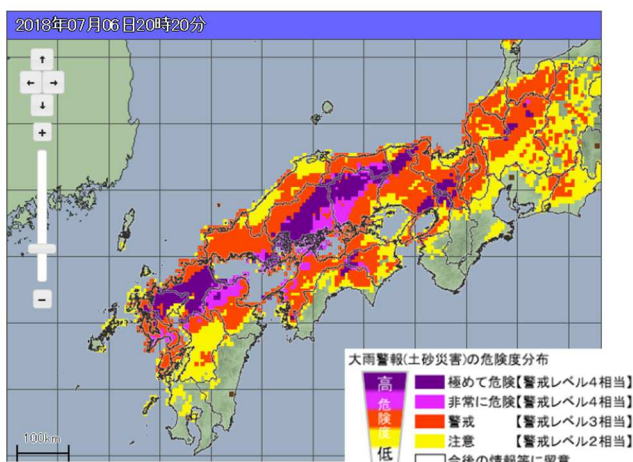
がけや急傾斜地が住いの近くや、最寄り駅やよく行く場所までの経路にある方は、大雨による土砂災害に注意が必要です。土砂災害は建物に壊滅的な被害をもたらす一瞬のうちに尊い人命を奪う恐ろしい災害です。急傾斜地や溪流の付近など、土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる場所は、都道府県が土砂災害警戒区域などに指定しており、指定箇所はハザードマップで確認できます。

大雨警報(土砂災害)の危険度分布は、大雨による土砂災害発生危険度の高まりを、地図上で5km四方のメッシュごとに5段階に色分けして示す情報で

指定河川洪水予報の発表基準(気象庁 HP より)



す。常時 10 分毎に更新しており、大雨警報(土砂災害)や土砂災害警戒情報等が発表されたときには、大雨警報(土砂災害)の危険度分布により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



### 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

特に**極めて危険**が出現した場合、土砂災害警戒区域などでは過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況となっているため、この段階までには安全な場所への避難を完了しておく必要があります。このため、避難にかかる時間を考慮して、2時間先までの予測値を用いて**非常に危険**、**警戒**、**注意**、**今後の情報等に留意**の危険度を表示しています。

高齢者等の方は遅くとも**警戒**が出現した時点で、一般の方は遅くとも**非常に危険**が出現した時点で速やかに避難を開始し、**極めて危険**に変わるまでに避難を完了しておく必要があります。

避難をしようとしたときに、道路冠水や暴風等で、指定緊急避難場所への移動はかえって命に危険を及ぼす状況と判断した場合には、少しでも命が助かる

可能性が高い行動として、近隣の頑丈な建物の2階以上の、崖や溪流からなるべく離れた部屋に退避するなどしてください。



また、周囲の状況や雨の降り方にも注意し、自治体から避難勧告などが発令されていなくても、危険を感じたら躊躇なく避難してください。斜面の状況に注意を払い、普段とは異なる前兆現象に気づいた場合には、直ちに安全な場所に避難してください。

自治体から避難勧告(**警戒レベル4**)や避難準備・高齢者等避難開始(**警戒レベル3**)などが発令された際には速やかに避難行動をとってください。

多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難勧告等よりも先に発表されます。避難が必要とされる**警戒レベル4**や高齢者等の避難が必要とされる**警戒レベル3**に相当する防災気象情報が発表された際には、避難勧告などが発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報などを用いて自ら避難の判断をしてください。

しばしば言われることですが、人には「たぶん大丈夫」、「自分は大丈夫」と自分に都合よく考えてしまう傾向があります。これを正常化の偏見といいます。いざという時はこのような考えは捨てて、安全第一で行動しましょう。

災害の原因となるような自然現象をなくすことはできません。しかし被害を減らすことはできます。大切なのは命です。自ら考え、行動し、自分の身は自分で守りましょう。 [桑原]

## 6月例会・合同勉強会

6月17日(月)かながわ県民センターで6月の理事会・例会・合同勉強会を開催し、会員など19名が出席しました。

### 6月理事会

- 令和元年の通常総会の結果について報告がありました。
- 神奈川県の出前授業で8校の小学校での実施が決定したことが報告されました。
- 5件の新規の活動について協議し、いずれも実施が承認されました。
- 旅費規程見直しについて協議しました。継続協議します。

### 6月例会

新規に実施が決まった10件を含む14件の活動について参加者の調整等を行いました。

### 合同勉強会

(神奈川県環境学習リーダー会エネルギー部会との共催)

- 研修旅行の計画  
7月1日(月)、2日(火)に日光周辺での研修旅行を予定していますが、計画の詳細について幹事から説明がありました。
- 太陽光発電パネル  
太陽光パネルに垂直方向から人口照明(ランプ)の光をあてて発電しながら、パネルの一部を遮蔽して

影を作った時に、影の面積割合と発電電力量との関係を実験した会員から発表がありました。影になったパネルの部分は負荷として作用するため、影の面積が増えると急激に発電量が低下します。

この実験は中学校の出前授業の中で行うことを想定していますが、生徒にとってより分かりやすい実験になるように更に検討するそうです。 [桑原]



## これからの活動予定

- ◇ 6月30日(日) さがみはら環境まつり、ミウイ橋本
- ◇ 7月8日(月)、8月30日(金) かながわ環境教室、横浜市青葉区内の小学校
- ◇ 7月20日(土) 放課後こども教室、橋本こどもセンター
- ◇ 7月24日(水) 夏休み環境学校、相模原市立橋本公民館
- ◇ 8月10日(土) 夏休み子ども環境体験教室、大磯町美化センター
- ◇ 9月18日(水) かながわ環境教室、葉山町内の小学校①

上記は計画が確定していないものを含みます。詳しくは事務局にお問合せください。 earth.eco.jimukyoku@gmail.com

### 7月の例会・勉強会

7月15日(月) 13:30-16:30

かながわ県民センター会議室

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

## 「さがみはら環境まつり」に出展します



昨年度の出展の様子

6月30日(日)午前10時30分から JR 横浜線/相模線 橋本駅近くのミウイ橋本で第15回さがみはら環境まつりが開催されます。

アース・エコは手回し発電 vs 太陽光発電 de 電車の競走などの発電体験、パネルによるアース・エコ活動紹介などを出展します。さがみはら地球温暖化対策協議会に所属する他団体とも協力して、温暖化対策コーナーとして一体感のある展示により来場者の皆様に地球温暖化対策を呼びかけます。クイズラリーなどの催しもあります。多くの皆様のご来場をお待ちしています。 [桑原]

## アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

### 私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。 ⇒ [info@npo-earth-eco.com](mailto:info@npo-earth-eco.com)

会員募集中！

アース・エコ

検索



### 私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。 ⇒ <http://www.archive.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

## アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで [info@npo-earth-eco.com](mailto:info@npo-earth-eco.com)